

## 透析医のひとりごと

### 「ニューヨークでのブラックアウト」—— 榎野博史

岡山大学では、私が学長に就任以来 SDGs (sustainable development goals, 持続可能な開発目標) の達成に大学をあげて取り組んでいます。SDGs は 2015 年の国連サミットで採択された 2030 年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットから成り立っています。

今年採択後 5 年目を迎えるにあたり、世界における SDGs の進捗状況が国連ハイレベル政治フォーラム (HLPF) でレビューされました。高等教育機関として岡山大学が先進的な取り組みをしているとの事で、今年 7 月、日本政府の要請により、国連 HLPF で岡山大学の事例を発表することになりました。国連本部での発表の 15 日に向けて数日前からニューヨーク入りし、13 日は岡山大学をはじめ岡山県出身者との岡山県人会の集まりに参加していました。会は順調に終わり、滞在していたホテルまで戻ったのですが、同行者からニューヨーク市内が停電しているという連絡がありました。「New York City Blackout」。6 万世帯超が影響を受け、日本でも報道されたあのニューヨークの大停電に遭遇してしまったのです。驚いて TV をつけると、ブラックアウトによりブロードウェイでのミュージカルやカーネギーホールでのコンサートなどが中止になったとニュースが流れています。世界経済の中心地での大停電は大混乱です。

我々はマンハッタンの南東部に位置する国連本部から近い所に宿泊し、その近くのレストランで県人会を行ったのが幸運でした。停電はマンハッタンの西半分で起こったので東半分は停電せず、おかげで我々は直接的な被害にあわずにすんだのです。このままニューヨーク市内で停電が続くと国連本部での会議はどうなるのかと心配していましたが、幸いその日の真夜中には復旧したとの事で、安堵しました。

ブラックアウトは週末の土曜日の夜のできごとで、医療機関での問題についてはニュースでは話題になっていませんでした。ニューヨーク市長が事件当日に市内を離れていたのが問題にされていたり、信号が消えたため車がパニック状態になる中ボランティアで交通整理をしている人たちの様子が話題になるなど、街の繁華街での混乱の報道しか目にしませんでした。一夜で復旧はしたものの、たとえ数時間でも医療機関においては重大な現実と闘うことになります。私は、街の混乱の映像を見ながらも、医療機関はその間どのように持ちこたえたのが気になって仕方がありませんでした。

帰国後ほどなくして、こうした私の危惧を検証したテレビ番組が放映されていました。番組では 1 年前の北海道胆振東部地震の直後に、道内ほぼ全域の 295 万戸が停電した状況を、医療の面から検証をしていました。医療の中でも透析をはじめとして電気に頼っている医療機器の稼働は、患者さんの生命に直結します。皆様方の医療機関においても災害時にどう対処すべきか防災マニュアルを作成されたり、BCP 計画を立て

ておられることと思います。まさかの時に備える心構えが必要です。

突如訪れる災害は、私も他人事ではありません。災害が少ないといわれてきた岡山県においても、平成30年7月の豪雨で倉敷市真備町をはじめ大きな被害を受けました。岡山大学病院でもまび記念病院から数名の透析患者さんをお引き受けしました。災害時に、まび記念病院では電源喪失のため電子カルテが使えなくなり、入院患者全員の症状を手書きでリストアップし、重症患者から優先的に非難させるため一人ひとりのカルテを作った上で、災害派遣医療チームに伝えたそうです。BCPは院内では周知できておらず、機能は難しかったと聞きます。

地球温暖化の影響により集中豪雨のリスクが高まっていると思われます。7月の国連でのHLPFにおいてもSDGsの13番目の目標の気候変動が大きく取り上げられていました。日本各地での集中豪雨、今年の夏のヨーロッパの熱波をはじめ世界中ですでに気候変動の影響が顕在化しています。2016年に世界平均気温の上昇を2℃より十分下方に抑える「2℃目標」であるパリ協定が発効しています。そのためにはCO<sub>2</sub>排出削減に向けた再生可能エネルギーの導入拡大が必要です。今すぐ具体的な対策を講じなければ、地球の未来にとって取り返しがつかない結果につながる恐れがあります。世界規模の壮大な目標で我が事としては考えにくいものですが、たび重なる災害を目の当たりにする昨今において、持続可能な社会のためには、今こそ考え直す時期であると危機感を感じます。ましてや我々医療人においては、重要不可欠な課題であると考えます。皆様方も、脱炭素社会に向けた電力をはじめとする資源効率性の向上を図る対策を講じてみられてはいかがでしょうか。

岡山大学学長（岡山県）